広報くろさき 10
平成十二年十月発行　四四五号　発行／黒埼町役場　〒九五〇-一一九六　新潟県西蒲原郡黒埼町大野二八四三-一　電話／〇二五-三七七-三一〇一　編集／総務課（担当・総務係）

黒埼町の人々

第222回　執筆　宮田栄門

黒埼のスポーツ

（十六）

練習の合間に休む藤棚の下は、避暑地だった。

（先月号からの続き）

感想文(6)野球大会遠征の思い出

宗村久

約半世紀も前のことで、記憶も定かでないが、私は復員後、新潟市に居住していた。

郡大会は、弥彦（現競輪場）、白根、燕、巻等で行われ、また町民野球大会は、大野小学校のグランドで行われるため、そのたびに兄より呼び出されていた。

日曜、祭日、春休み、夏休み等は毎日小学校のグランドで練習漬けであった。暑い夏など練習の合間に、ふじ棚の下でひと休みし、「あ、軽井沢・・に行ったみたい」と話し合ったものだ。

また大野町々民野球大会が毎年開催され、太洋クラブ所属の人が多かった二ノ丁が記念すべき第一回大会に、15―2で圧勝し、以後毎回優勝していたと記憶している。これも練習の賜であったのだと思う。

そして、何時か忘れたが、郡大会で勝ち、優勝旗では無く、花輪を貰い、持って帰るに車の中に入らず、手を外に出し花輪をおさいて、手がしびれて困ったことなども、思い出のひとつである。

平成十二年三月、記

藤棚は、当時グランドの西端の田んぼとの境い目近く（今の体育館のあたり）にあった。

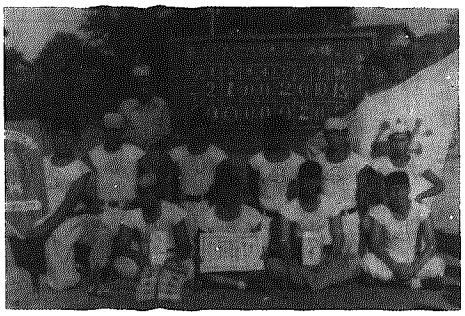
五十年も前のことで「記憶も定かでないが。」と、言われるのを無理にお願いして書いていただいた。

昭和二十二、三年ころから、黒埼や近郷市町村で野球が盛んになり、二十三年、二十四年と太洋クラブは弥彦や、白根、燕、巻などの町村で行われた郡野球大会などに遠征して、毎年のように好成績を収めていた。

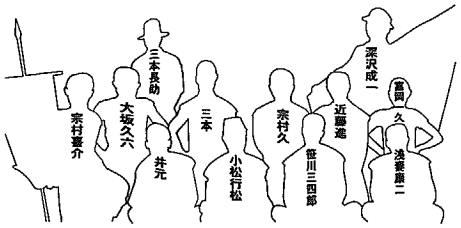
太洋クラブは、日曜、祭日、春休み、夏休みと、休日はほとんど全員が大野小学校のグランドに集まって練習した。春や、秋口の冷けだった頃は良かったが、焼けつくような熱さの夏場の練習はつらかったようである。

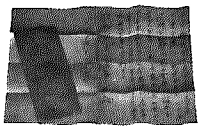
そんな彼らの何よりも楽しみは、練習合い間に休む藤棚の下だった。藤棚の下の日影は、風通しも良く、夏の炎天下に汗を流している彼らにとってまさに天国だったに違えない。「あ、極楽だ、極楽だ。」の言葉もそんなことから生まれたのだろう。また、取材の中で、大勢の人から「藤棚の下は天国で、避暑地のようだった」と聞かされており、久さんも「あ、軽井沢に行ったみたいだ」とみんなと話し合ったと書いているが、軽井沢といえば、当時日本の代表的な避暑地と知られていたから如何にみんなにとって藤棚の下が魅力的で楽しい場所だったかがわかる。

また、大野町々内対抗野球大会が毎年のように行われ、太洋クラブに所属する人の多い町内が何時も優勢で、その第一回大会に宗村久さんの二ノ丁が、写真の通り15対2の圧倒的な強さで五区を破って優勝している。



選手の着ているユニフォームの4の数字は当時二ノ丁が大野四区だったから





写真による当日の二ノ丁のメンバーは、浅妻康二さん、宗村喜介さん、宗村久さん、大坂久六さん、浅間健吾さん、井元某さん、富岡一久さん、笹川三四郎さん、小松行松さん達で、他に応援旗を持った深沢誠一さんの元氣だった頃の顔が見いる。その後の大会にも二ノ丁は何回か優勝し、そのチームワークの良さは他丁内を圧していた。（他に町内対抗野球大会に活躍した人に、室谷隆さん、二階堂正吉さん、浅妻靖雄さん、塚田定次さん、近藤茂雄さん、深沢龍郎達がいる）

太洋クラブはまた、弥彦、白根、燕、巻等で行われた西蒲原郡の野球大会などに遠征し、西蒲の強豪として何時も好成績を収めていた。久さんの兄喜介さんはクラブのリーダー格で、当時の喜介さんの野球に対する熱意をものがたる、久さんにあてた手紙を紹介する。

「明日、郡野球大会が燕にあるので来られたし、新大野発七時二十二分にて行く、若しその電車に誰も居らん時は下車してくれ、その次の電車かも知れんので、只今時間打合せ中、要するに七時二十二分発（新大野）に来て、新大野に下車すればわかる。行かれんようなら返事至急・・」。

宗村喜介さんが新潟に居る弟久さんに、明日弥彦で行われる郡の野球大会に是非出場して欲しいという内容の手紙である。文中に、久さんの応援を期待する喜介さんの氣持があらわれている。

この大会の年月等について久さんもはっきりと覚えていないが、昭和二十四年頃のことではないかと言っており、その封筒がまた、戦時中のものらしく「陸軍」の印が押してあって、手紙の紙も質の悪い藁ばん紙ということからも、終戦後間もないものに違えない。よく五十年も前の手紙が残っていたものだと、感心していたら、久さんがもう一通、終戦後間もない頃の郵便葉書を見せてくれた。それもやはり野球に関するものだった。

（続く）

「広報くろさき」は資源保護のため再生紙を使用しています。